

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立白岳小学校  
(白岳中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+10.4	+5.8	+8.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 <math>\frac{76}{65.6}</math> % 全国 県 <math>\frac{67}{67}</math> %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、感想や意見を基に、自分の文章のよいところをまとめて書くことに課題がある。 (設問3二)【書くこと】(平均正答率48%) ◇自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことに課題がある。</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎国語科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、条件をふまえた文章を書くという学習活動を設定する。 ◇国語科の学習で身に付けた資質・能力を、各教科の学習や生活の様々な場面で、積極的に生かす態度を育成する取組を継続して行う。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問3二)(第5学年,12月)目標50%→49%(2月) ◇全国学力調査の類題を二学期末に実施し、目標値(45%)に達している。</p>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 <math>\frac{69}{63.2}</math> % 全国 県 <math>\frac{64}{64}</math> %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎百分率で表された割合について、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。 (設問2(3))【変化と関係】(平均正答率18%) ◇事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能に課題がある。</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎二つの数量の関係を比べる際に、百分率を用いて割合を比べるという活動を体験し、日常生活で量感を養う。 ◇事象から性質を見つけ、それらを確認、説明する学習活動を行う。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問2(2)・(3))(第5学年,2月)目標70%→44%(2月) ◇全国学力調査の類題を実施し、目標値(40%)に達している。</p>
<p><b>理科</b></p> <p>本校 <math>\frac{72}{63.3}</math> % 全国 県 <math>\frac{66}{66}</math> %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。 (設問3(4))【「エネルギー」を柱とする領域】(平均正答率48%) ◇科学的な見方・考え方で、既習事項と身近な事象を関連付けて、新たな事象について推論することに課題がある。</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎実験の条件をしっかりとつかみ、問題に対するまとめの根拠を示しながら、論理的にまとめの文章を書くことを指導する。 ◇身近な事象を多く取り入れた授業を行う。 身近な事象を用いた課題を設定し、問題解決学習を行う。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問3(4))(第3～5学年,2月)目標50%→65%(2月) ◇全国学力調査の類題を実施し、目標値(45%)に達している。</p>

【来年度に向けて】

- ・ キュビナ等を活用し、個人差に応じた基礎学力の定着を計る。
- ・ 課題がある領域について、根拠を説明したり誤答を活用したりするなど、思考し学び合う活動を積み重ねる。